

沖縄の島嶼防災を考える

平成30年度

災害危機管理シンポジウム

# 沖縄 震度7



沿岸部津波で壊滅

もしもの時、あなたはどうしますか？

開催趣旨：

本県では、1万6,000人以上の外国人が暮らしています。その出身国籍は120カ国にも上り、それぞれの持つ習慣・文化の枠を超えて、地域社会は必然的に多様化せざるを得ない傾向にあります。加えて沖縄を訪れる外国人観光客数は、年間200万人を超えました。

このような状況の中、もし沖縄県で大規模な災害が発生した場合に、我々はどう乗り切るのか。空港や港が使えない、容易に他県からの応援が得られないとすると、どういうことが起こるのか。

本シンポジウムは、基調講演とパネルディスカッションをとおして、地域が抱える災害危機管理上の課題を掘り下げ、それぞれの立場で対応策について考える機会を持つことを目的に実施します。

写真：仙台市提供

日時：2019年1月18日（金）

13:15～16:30（受付12:45～）

場所：沖縄産業支援センター 中ホール

基調講演 福和 伸夫 氏

名古屋大学大学院環境学研究科教授

名古屋大学減災連携研究センター センター長

\*基調講演の他、有識者によるパネルディスカッションを行います\*

主催：（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団 TEL：098-942-9215 FAX：098-942-9220

\*内容の詳細や参加申し込み方法は、財団HP(<http://kokusai.oihf.or.jp>)でご確認ください\*

